

【評価対象年度 2021年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	鶴間ひまわり学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市鶴間4-17-1(鶴間小学校敷地内) 【開設年月】 2004年 【開所日時】 月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】 延床面積178.74㎡ 【建物構造】 軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】 98名(2021年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyo.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ等の提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験を行う	毎年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの司会による誕生会や、子どもたちのやりたいアイデアを基にしたおたのしみ会を行い、子どもの主体的な活動を促した。</li> <li>・人のために作り贈るという体験で感謝の気持ちを伝えること、季節の工作を通して創作することの楽しさに触れた。</li> <li>・オリンピック開催時の世界の国旗づくりでは、世界に目を向けることに繋がった。</li> <li>・ごみを減らすためにどうするとよいかというワークや、リサイクルプロジェクトに参加することで、SDGsの学びに繋がった。</li> </ul>
職員の質の向上を図る	毎年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブミーティングやノートを活用した情報共有に努め、全職員の対応や意識が向上した。</li> <li>・職場研修計画に基づき法人独自の研修に力を入れた。新人職員は、学童保育の基礎知識や支援内容を身につけることができた。また、島田療育センターの基礎研修に参加することで子どもの行動を理解し対応する方法を学んだ。</li> <li>・階層別研修では、経験年数や環境に近い職員同士話をする中でそれぞれの立場での課題や悩みの共有、意見交換ができた。また、「自己評価表」や「個人の課題への取り組み計画・評価表」を用いたことで、一人ひとりの意識が高まり個々の質の向上につながった。</li> </ul>
安全管理に努める	毎年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具点検や危険箇所チェックを行い、保育環境を見直し改善することで事故やケガの防止に努めた。</li> <li>・日々の保育の中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために、児童へのマスク着用と手洗い・消毒の声かけを徹底した。人が多く触れるテーブルや蛇口、おもちゃ等の消毒を徹底し、常時換気を行う、一日保育時は毎朝の検温を行う等、感染症予防に努めた。また、法人内の感染症部会で、感染防止対策を検討し、法人内クラブで情報共有を行った。</li> </ul>

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>A</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体満足度については95%以上、サービス・施設管理面については85%以上の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。指定管理者所見にも記載されているとおり、日頃から積極的に保護者とコミュニケーションをとるよう努め、また、トラブル等があった際には、小さなことも細やかに対応し保護者へ報告するよう努めたこと等が、この結果に繋がったと考えられる。 利用者満足度調査回収率は80%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、全体的に良好な運営を行っていると判断し、総合評価を「A」とした。	

【評価対象年度 2021年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談を行い子どもたちのクラブでの様子を伝えるとともに、日頃からお迎えの際にも積極的に保護者とコミュニケーションをとるよう努め、関係づくりを行った。また、クラブだよりに写真を掲載し、クラブの様子をわかりやすく伝えるようにした。トラブルやケガがあった際には、小さなことも細やかに対応し保護者へ報告するよう努めた。その結果、利用者満足度調査で「全体の満足度」が95%となった。</li> <li>・家庭からクラブで宿題を行う要望に対しては、時間の設定や場所の提供など自主的に学習を行える環境づくりを行った。また、クロームブック学習を行う環境も整えた。</li> <li>・学校や関係機関との情報交換を適宜行い、連携に努めた。まちとともは、日々の状況の確認、ルールやヒヤリハットを共有することで、子どもの安全や事故防止につながった。合同で不審者対策訓練を行い、まちともを利用していても学童を利用していても安全な方に避難し身を守ること、学童職員とまちともスタッフの動きの確認ができた。</li> <li>・今年もコロナ禍で大きな行事は行えなかったが、保育の中で子どもの主体的な活動を大切にし、おたのしみ会や季節の行事、工作などを行った。オリンピックの開催にちなんで国旗作りを行い、世界に興味を広げた。高齢者施設みぎわホームの方へメッセージを贈り、地域交流につながった。</li> </ul>
-------------------------------	--

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	<p>【調査期間】2021年12月1日～12月28日(29日間) 【登録児童数】92名(調査月1日時点)</p> <p>【配布枚数】78枚</p> <p>【回答数】63枚</p> <p>【回収率】80.8%</p> <p>【調査方法】(配布方法) 在籍児童の連絡板を通して配布。(回収方法) 投函箱、事務局への郵送、連絡板を通して行う</p>
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	92%	95.2%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	91	92	94	95	96
実績値	96.3	95.2			

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	92%	89.7%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	91	92	94	95	96
実績値	89.8	89.7			

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	11回	18.3回	A	
指定期間内における実績(単位: )					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	11	11	11	11	11
実績値	12.5	18.3			

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	<p>利用者満足度において75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は75%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。</p>

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

## 【評価対象年度 2021年度】

### 6. 業務履行状況の確認

#### (1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等により、保護者・利用者への平等な取扱いを確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	「おたより」及び「ホームページのコピー」により、保護者への情報提供を状況を確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	「年間計画」及び「実施報告書」により、事業を適切に実施していることを確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	毎月「育成日誌」を、半期に1度「育成記録」を、各期日までに提出していた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	「安全衛生管理チェックシート」・「自主検査表」等により適切に点検を実施していることを確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	「町田市社会福祉協議会個人情報保護規程」等により、個人情報保護体制が整備されていることを確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報に記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	「町田市社会福祉協議会情報公開規程」により、情報公開体制が整備されていることを確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	「町田市社会福祉協議会苦情解決に関する規程」により、苦情対応の体制が構築されていることを確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	「学童保育クラブ防犯・防災マニュアル」等により、緊急時・災害時対応手順が整備されていることを確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	「育成日誌」により、火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	「救急処置マニュアル」等により、病気や事故に対する対応手順が整備されていることを確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	「育成日誌」及び「シフト表」により、適切に職員が配置されていたことを確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	「研修記録」により、年2回以上、職員研修を受講していたことを確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	「事業収支決算書」等により、関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	「事業報告書」等により、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	「事業報告書」等により、地元団体と連携した行事等を実施していたことを確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	「職員調書」等により、市民雇用、市内業者の利用に配慮していたことを確認した。	適

【評価対象年度 2021年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2022年1月13日に社会福祉法人町田市社会福祉協議会が管理する野津田学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2022年1月13日に社会福祉法人町田市社会福祉協議会が管理する野津田学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2020		2021		2022		2023		2024	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	32,889	27,994	34,258	32,668	22,603		23,073		23,658
	特別育成料	673	442	538	629	0		0		0
	雑収入	0	0	0	0	0		0		0
	寄附等	0	0	0	0	0		0		0
	計	33,562	28,436	34,796	33,297	22,603	0	23,073	0	23,658
支出	人件費	27,580	22,076	28,656	26,543	17,906		18,339		18,840
	管理費	819	726	815	623	440		440		440
	運営費	533	339	604	343	280		280		280
	精算する経費	1,763	1,433	1,700	1,493	1,700		1,700		1,700
	間接経費	2,867	2,400	3,021	2,752	2,277		2,314		2,398
計	33,562	26,974	34,796	31,754	22,603	0	23,073	0	23,658	0
総計(収入-支出)	0	1,462	0	1,543	0	0	0	0	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	2.2	3.0			
負債比率	85.6	67.3			

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率、負債比率は適正な値であった。